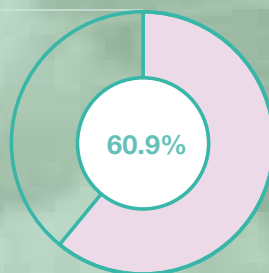


# Review of Operations

## 事業概況

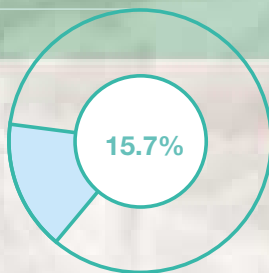
### ■ ホーム・サニテーション(HS)事業

HS事業の売上高は、前期比4.3%減収の268億40百万円となりました。減収ながら、依然として全売上高の6割を占めています。営業体制の見直し効果が表れ、生産性は改善傾向。「白蟻防除」「家屋補強システム」「床下・天井裏換気システム」が商品の3本柱です。



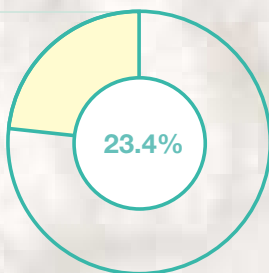
### ■ エスタブリッシュメント・サニテーション(ES)事業

「活水器取付施工」を主力商品とするES事業の売上高は、前期比3.6%減収の69億34百万円となりました。徹底した合理化の推進により、営業利益が黒字転換。地域別売上高では、西日本の売上構成比が大きいHS事業と異なり、ビル・マンションが多い関東地区の売上高が最大です。



### ■ 環境資源開発事業

環境資源開発事業の売上高は、前期比18.0%増収の103億9百万円となりました。2003年8月に商業運転を始めた苫小牧発電所による「売電収入」が大幅増収したほか、「廃プラ加工処理」「有機廃液処理」「焼却処理」が収益の柱です。減損会計の早期適用により、回収見込みの小さい固定資産を見直し、減損損失を計上しました。



# At a Glance

# Review of Operations

## 事業概況

## ホーム・サニテーション(HS)事業

品目別売上高	(百万円)				
HS事業	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
合計	43,385	45,490	34,708	28,059	26,840
白蟻防除施工	12,494	11,511	11,578	10,990	10,406
床下・天井裏換気システム	12,406	13,550	12,019	9,014	8,563
家屋補強システム	13,328	13,627	6,643	4,063	3,971
その他	5,155	6,801	4,466	3,990	3,898



### 【シロアリ防除】

シロアリの習性を熟知したスタッフが、徹底的に探知、予防、駆除します。



### 【家屋補強システム】

床下、屋根裏の主要接合部を金具で補強することにより、家屋全体の耐震性・耐久性を向上させるサニックス独自のシステム。大掛かりな外壁工事の必要もなく、低価格、短期間での施工が大きな特徴です。

## ■ 日本の家屋を長持ちさせ、快適な住環境を提供

日本の家屋は、築30年未満で建て替えられるものがほぼ半数を占めます。木材という素材を多用する建築構造上の特性、高温多湿という気候風土などが起因し、西洋住宅と比較して、耐用年数が短いのが一般的です。具体的な被害としてクローズアップされるのが、湿気による木材の腐朽や白蟻の被害です。また、台風や地震などの自然災害が多いことも、家屋の寿命を縮める要因となっています。

サニックスは住まいのホームドクターとして、家屋の健康をおびやかす要因を徹底的に研究し、その寿命を延ばす独自のシステムを開発しています。予防医学の見地から、綿密な調査にもとづくメンテナンスを行い、100年住める強い家づくりを目指し、快適な暮らしと財産を守るお手伝いをしています。

## ■ 「白蟻防除」「家屋補強システム」「床下・天井裏換気システム」が主力商品

HS事業は主力3商品により、床下から天井まで家全体の耐久性を高め、家屋を長持ちさせることを通じ、快適な住環境を提供します。「白蟻防除」は、家屋の基礎に致命的なダメージを与える白蟻被害を未然に防ぐ予防消毒や、実際に被害のある家屋に対する駆除消毒を施し、その後は定期的なメンテナンスを実施します。「白蟻防除」は5年保証とし、それによって信頼を獲得した顧客からは、リピートオーダーが期待できます。

「家屋補強システム」は、床下や天井裏にある木材の接合部分を金具で補強し、地震や台風にも強い家屋を実現します。大がかりな外壁工事もとまわず、短工期と低価格を特長としています。「床下・天井裏換気システム」は、太陽光を動力源とする独自の換気扇を床下・天井裏に設置します。外部の乾いた空気を取り込み、風の通り道を作ることによって、木材を湿気やカビから守るシステムです。



### 【床下・天井裏換気システム】

太陽光を動力源とする床下・天井裏換気システム。晴れた日、外の空気が乾燥していて換気に適した時に動く仕組みで、電気代も不要です。

# Review of Operations

## 事業概況

## エスタブリッシュメント・サニテーション(ES)事業

品目別売上高	(百万円)				
ES事業	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
合計	6,576	8,094	8,085	7,191	6,933
活水器取付施工	3,155	3,558	3,523	2,871	2,737
建物給排水補修施工	1,363	1,436	1,458	1,320	1,510
建物防水塗装補修施工	2,057	3,099	3,102	2,998	1,316
その他					1,369



### 【ファイバースコープによる水道管検査】

環境を害し、施設の寿命を縮める原因となる問題点の“早期発見・早期治療”を目指し、あらゆる都市空間のトータルサニテーションを推進しています。



### 【SCプロテクター】

赤水等の問題の原因を元から断つシステムとして開発いたしました。サイエンスセラミックの触媒作用により、水を活水化させます。

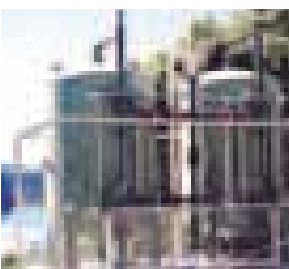
## ■ 都市空間の衛生管理を手掛ける

一般家庭を対象とするHS事業に対し、ES事業はそれ以外の施設の衛生管理を行います。ビルやマンションなど、大型建築物の環境衛生は、目に見える以上に多くの問題を抱えています。衛生意識の高まりにともない、ホテルやレストラン、食品工場、医療機関などでは、より高度な衛生管理が求められています。このような法人を対象に、衛生検査・診断から、食中毒対策、水質管理、各種施設のメンテナンス、有害生物の防除などのサービスを提供するのがES事業です。

一般家庭以外の施設全般といっても、顧客の業種ごとに環境が異なり、顧客のニーズも異なります。業種特有の問題に対する理解や、専門的な技術、経験、ノウハウが求められます。サニックスは、多種多様な業種での施工実績があり、さまざまな顧客ニーズに対応できる体制となっています。特に水質管理をはじめ、建物設備のライフサイクルを長くするためのサービスを、主力事業と位置づけています。

## ■ 水廻りにおけるメンテナンス需要を開拓

ES事業の主力商品は、自社開発のセラミック活水器「SCプロテクター」を設置する「活水器取付施工」です。ビルやマンションなどは、貯水槽から給水管を通じて各部屋に給水されますが、給水管に活水器を設置することでサビの進行を抑制でき、配水管の寿命を延ばすことができます。活水器の取付をきっかけとし、建物全体の給排水設備のメンテナンスを行う「建物給排水補修施工」や、「建物防水塗装補修施工」に発展してきます。そのほかにも、硫化水素除去システム、オゾン浄水システム、ヒ素除去システムなど、水廻りの衛生管理に関する商品が充実しています。



### 【ヒ素除去システム】

土壌や井戸水等の飲料用水等に含まれるヒ素を、吸着剤を用いて除去いたします。除去能力に優れ、しかも低価格でご提案しています。

# Review of Operations

## 事業概況

## 環境資源開発事業

品目別売上高	(百万円)				
<b>環境資源開発事業</b>	2001年	2002年	2003年	2004年	<b>2005年</b>
合計	4,568	5,675	7,564	8,736	10,309
廃プラ加工処理	2,362	3,354	4,443	4,994	5,392
有機廃液処理	901	1,029	1,711	1,419	1,953
焼却処理	1,304	1,291	1,340	1,448	1,229
売電収入	—	—	68	874	1,733



### 【北九州工場】

医療系廃棄物などの特別管理産業廃棄物を含めた、多種多様な廃棄物を安全・確実に処理しています。また、周辺環境に配慮したクローズドシステムによる公害対策を実施しています。



### 【プラスチック資源開発工場】

廃プラスチックの再資源化、燃料化を目的としたプラスチック資源開発工場。全国16カ所に展開。苫小牧発電所へ燃料を供給します。

## ■ 循環型社会の構築に貢献

地球規模での環境保護が求められる今、増え続ける産業廃棄物の処理は、深刻な社会問題になっています。また、最終処分場の能力には限界があり、廃棄物の発生抑制、有効利用が求められています。サニックスはこうした時代の要請に応え、1994年、産業廃棄物処理事業に進出し、現在は廃プラスチックの燃料化、循環型発電システムの運営まで、その活動領域を広げています。

「エコビジネス」のリーディングカンパニーとして「循環型社会の構築」に貢献するべく、産業廃棄物を可能な限りリサイクルし、リサイクルできないものは減量化・無害化することで、地球環境への負荷を軽減する取り組みを行っています。

## ■ 環境資源開発事業は4部門で構成

「廃プラ加工処理」は、全国の16工場で開催しており、廃プラスチックを燃料として再利用する加工処理を行っています。「有機廃液処理」は、北九州のひびき工場を手掛けており、有機汚泥・有機廃液のみを処理する施設としては、国内最大の規模を誇っています。

サニックスエネルギー苫小牧発電所は、廃プラスチックを燃料とする循環型発電システムであり、発電された電力はすべて北海道電力向けに販売、これが「売電収入」として計上されています。廃プラスチックを燃料化し、それを利用して発電するシステムは、他に類を見ないものです。産業廃棄物リサイクルの、理想型の1つといえるでしょう。「焼却処理」は、北九州工場において医療系廃棄物を含め、様々な産業廃棄物を焼却処理し、減量化、無害化することで環境への負荷を軽減しています。



### 【サニックスエネルギー苫小牧発電所】

プラスチック資源開発工場で加工、燃料化したプラスチックをエネルギーとして利用する循環型発電システム。環境負荷も少なく、付加価値が高い電気エネルギーの供給が可能です。

# Board of Directors and Auditors

取締役・監査役  
(2005年6月29日現在)

President and  
Chief Executive Officer

代表取締役社長  
宗政 伸一



常務取締役 Managing Directors



財津 一展



井上 公三



梅田 幸治



松川 幸義

取締役 Directors



箭内 伊和男



村上 啓二



丸元 清一



生垣 吉計



本多 文男



福島 達也

監査役 Corporate Auditors



小松 茂



常勤監査役  
福澤 正喜



常勤監査役  
首藤 征剛



監査役  
安井 玄一郎



監査役  
小森 孝男



# Corporate Governance

## コーポレート・ガバナンス

### 意思決定と内部統制

サニックスの取締役会は、迅速な経営判断を行うため、12名の取締役で構成しています。取締役会は、原則として毎月1回以上開催しており、各事業部門の業績進捗等を監督し、重要事項に対する意思決定をしております。2004年5月に執行役員制度を導入しており、各執行役員は担当部門の責任者として、取締役会の意思決定に従いつつ、業務執行にあたっています。

社外取締役は選任しておりませんが、4名で構成される監査役会（うち2名は社外監査役）が、取締役会のチェック機能を果たしています。監査役は取締役会に出席し、その他の重要な経営会議にも出席し、取締役の業務執行状況を監督できる体制となっています。

経営の透明性と健全性を確保するために、IR活動の充実に努めています。重要事項の迅速な情報開示、四半期決算ごとの決算説明会実施、月次の連結売上高の開示等を実施しています。

### リスク管理体制と内部監査

当社は、お客様の相談等の窓口として、社長直轄の「お客様相談室」を設置しております。また、会社全般のリスク管理を目的とした「危機管理対策室」も、社長直轄としております。以上により、お客様の苦情等に迅速かつ的確に対応できる体制、および、種々のトラブルを未然に防ぎ、仮にトラブルが発生しても適切かつ早期解決ができる体制を構築しています。

内部監査についても、社長直轄の「内部監査室」を設置し、会社が定める規程等の遵守状況や、業務全般に関しての妥当性、有効性、適法性について監査し、随時関係部門への勧告、是正指導等を実施しています。

